

2026 年

10月31日|土|

10:00 - 15:00

* うち 1 時間お昼休憩

香川県・東京藝術大学・香川大学が一緒に取り組む

「瀬戸内海分校プロジェクト かがわアートスタディーズ U18」。

このたび、県内中学生以上の方にご参加いただける関連企画として、

見ることや描くことを楽しむワークショップを開催します。

高松港から見える瀬戸内海の風景を、いつもとは少し違う見方で眺めてみませんか。

見つけたことや感じたことを、自由に線や色で表現します。

絵を描くのが好きな方も、普段あまり絵を描かない方も、ぜひご参加ください。

会場 | 高松港旅客ターミナルビル 7 階 会議室

香川県高松市サンポート 1 番 1 号

集合 | 9:45 に 1 階ロビー

定員 | 20 名 * 応募者多数の場合抽選

対象 | 香川県在住で美術に興味のある中学生以上の方

参加費 | 無料

講師 | 西村 雄輔 東京藝術大学美術学部 絵画科油画専攻 教授 ほか

持ち物 | 筆記用具、取材用のスケッチブックもしくはノート、
色鉛筆や水彩絵具などの画材、飲み物など

服装 | 動きやすく、汚れてもよい服装

屋外を歩いて観察する時間や、画材を使う活動があります

*本プロジェクトでは記録として写真や映像を撮影します。撮影した写真や映像は、カタログや出版物、ウェブサイト等で掲載する場合がありますので、予め撮影・掲載にかかる承諾書を提出していただきます。未成年は保護者の同意が必要です。なおご承諾いただけない場合は、運営上、参加をご遠慮いただくことがあります。

応募フォーム | <https://forms.gle/qBvuAqZrrospWYc8>



お問合せ先 | 香川県文化振興課 文化芸術グループ

TEL : 087-832-3785 (平日 9:00~17:00)

FAX : 087-806-0238

瀬戸内海分校プロジェクトとは

香川県・東京藝術大学連携事業「瀬戸内海分校プロジェクト」は、海洋環境をテーマに、東京藝術大学が派遣する国内外で活躍中のアーティストと中学生・高校生らがチームを組み、フィールドワークや作品制作、展覧会の準備・開催を行うことで、作品の企画立案から展覧会開催に至るまでの一連の流れを実践的に学ぶプログラムです。

行ったり来たりと、観察。

風景を見るためのウォーミングアップ

高松港旅客ターミナルビル7階から瀬戸内海を眺めながら、海や空、建物など、目の前に広がる風景をゆっくり見ていきます。皆で協力して一本の線を描く活動など、身体を動かしながら、自分にとっての水平や垂直を探してみます。

探索と観察

ターミナルビルの周りを歩きながら、7階から見て気になった場所やものを観察し取材します。見慣れている風景のなかにある、普段は気づかなかった形や色、動きなどを探してみます。

表現する

7階に戻り、観察したことや感じたことをもとに、一人ひとり作品をつくります。見つけた風景を新しい目で見て、作品にしていきます。どのように見えたか、何を感じたかは人それぞれ。身体を動かしたり、周りの人と一緒に観察したり描いたりしながら、自分なりの風景の楽しみ方を見つけます。